

瓊水

けい すい

瓊水とは、玉のように美しく清らかな水のことで、田平を潤す、玉のように清らかな心をもつ子を育てていきます。

校長 田崎俊一郎



環境が人を育てる！

九州北部が梅雨入りをしたそうです。それと同時に沖縄地方は梅雨明けしたとのことです。日本も細長く、地方によって気候もずいぶんと違うのだと思いました。これから暫くは雨の日が多くなりそうです。雨の日も楽しく過ごせるように考えていきます。

さて、“環境が人を育てる”とはよく聞く言葉です。ここでいう環境とは、その人の立場や役割を指すこともあり、その意味するものはいろいろありますが、次のように考えることもできます。

環境を学習環境ととらえると…

学習環境を整えることで学力UPが期待できます。北小では“北小学校学びの進め方”を作成し、それに基づいて指導しています。

(例えば…文具については)

- ・直定規(15cm程度、透明なもの)
- ・鉛筆5、6本程度(B、2B)
- ・赤ボールペン(赤鉛筆)
- ・青ボールペン(青鉛筆)
- ・消しゴム・下敷き(透明なものがよい)
- ・ネームペン
- ・蛍光ペン(4～6年)

※キャラクターなどなく、実用的なものを勧めています。

細かいことのようにですが、このような細かいことの積み重ねが大切です。

環境＝心の反映ととらえると…

子どもたちの心を豊かにするためには掲示教育や図書室環境整備も大切です。

北小の図書室も落ち着いて本が読めるように机の配置を見直しました。



その他にも掲示物を魅力あるものにしたたり、季節にあうものにした工夫をしています。そのことが子どもたちの心を育てることにつながると考えます。

あいさつマスター

先日、地域の会に参加した際、子どもたちのあいさつがなく、寂しい思いをしているというお話を聞きました。地域ではあいさつする子としない子の差が激しいというお話でした。このことは、子どもたち自身も問題だと感じているようで、運営委員会が中心となって、北小であいさつの輪を広げる取組をすることになりました。

ひとつは、あいさつポストの活用です。あいさつがよくできている人を見つけるために、ポストに入れて募集をしようというものです。早速、たくさん子どもたちが、あいさつができています人を見つけ、カードに書き、ポストに入れていました。週に一度、放送でその人を紹介し、みんなで認め合うということでした。

もうひとつは、昨年度からおこなっている“あいさつマスター”の取組です。5月の月間あいさつマスターは1年生の〇〇さんでした。先日、そのがんばりを認めるために北っ子タイムで表彰がありました。

あいさつは心のリボンです。あいさつを交わすことで、まわりの人の心と自分の心が結ばれます。学校内に限らず、地域の人とも心がつながるよう、今後もあいさつ運動を進めていきます。

